

昭和大学歯学部学生が卒業時に有している能力（コンピテンシー）

1. プロフェッショナルリズム

真心と情熱をもって患者中心の医療を提供し、健康を増進する責任感と態度を有し、生命の尊厳、守秘義務、医療安全、患者の権利について、法と医療倫理を遵守するとともに医療を担う後進の育成に寄与する。

2. コミュニケーション

患者や家族、地域住民、医療関係者と適切な言葉や態度によるコミュニケーションを介して、良好な人間関係を構築するとともに、必要な情報を収集・提供できる。

3. チーム医療

- 1) とともに医療を担う多職種の職能を相互に理解・尊重して良好な人間関係を構築し、患者にかかわる情報を共有できる。
- 2) 多職種と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践できる。

4. 専門的実践能力

統合された知識、基本的技能、適切な態度を身に付け、患者・家族の心理・社会的な背景を把握するとともに、科学的根拠に基づいた医療を実践し評価する。

1) 臨床情報の集約

1. 患者のプライバシーに配慮し、適切なコミュニケーションのもとに信頼関係を築き、治療に対する希望、心身に関する特性などに配慮して、患者の主訴や医療情報を聴取、記録できる。
2. 歯・歯周組織・口腔粘膜・顎関節など口腔・顎顔面の診察を行い、その結果を記録することができる。
3. 診察に基づいて適切なエックス線検査や各種臨床検査を選択、実践することができる。

4. 小児・高齢者および障がい者などに対し、治療に対する本人や家族の希望、心身に関する特性などに特別に配慮して、医療情報聴取、診察、検査を実施することができる。
5. 発音・構音機能障害、摂食・嚥下機能障害、睡眠時呼吸障害をもつ患者に対し、基本的な診察、検査を実施できる。
6. 安心・安全な治療のため、全身状態の把握に努め、他の医療従事者と密な連携をとることができる。

2) 診断と治療計画

1. 集約された臨床情報に基づき、鑑別すべき疾患を考慮して基本的な診断を行い、一患者単位の総合治療計画を立案できる。
 - 1-1. 齲蝕、歯髄疾患、根尖性歯周炎および歯周病を診断できる。
 - 1-2. 歯質や歯の欠損に伴う審美障害や機能障害を診断できる。
 - 1-3. 典型的な口腔粘膜疾患、顎骨および顎関節症疾患を診断できる。
 - 1-4. 先天異常や発育異常に伴う歯・口腔・顎顔面の発育障害や、発育段階に生じた後天的な障害、機能的異常の基本的な診断ができる。
2. 一般歯科診療の範囲を超えると判断した場合には、専門医と連携できる。

3) 口腔の健康の確立・回復と維持

1. 治療計画に沿って口腔の健康の確立・回復に参画できる。
 - 1-1. 齲蝕、歯髄疾患、根尖性歯周炎および歯周病の基本的な治療ができる。
 - 1-2. 歯質や歯の欠損に伴う審美障害や機能障害に対する基本的な補綴処置ができる。
 - 1-3. 基本的な抜歯術が施行でき、口腔領域の外科処置に参画できる。
 - 1-4. 口腔顎顔面領域の痛みや心理的苦悩に対する診療に参画できる。
 - 1-5. 発音・構音機能障害、摂食・嚥下機能障害をもつ患者に対する治療に参画できる。
2. 小児・高齢者および障がい者など特別な配慮の必要な患者の診療に参画できる。
3. 一般歯科診療で遭遇する緊急事態を予め防止するための方策を立てることができ基本的な対応ができる。
4. 地域連携（病診、病病連携）の歯科医療を理解でき、参加できる。
5. 医科病棟入院患者の口腔ケア（含：周術期口腔管理）を理解し、参画できる。

4) 予防とヘルスプロモーション

1. ヘルスプロモーションの考えに基づいて、地域社会で生活する個人、家族および地域住民の口腔の健康維持と心身の健康との係わりへの理解を啓蒙し、改善および予防の指導ができる。

1-1. 患者とその家族に健康教育を適切に実施できる。

1-2. 食生活を含む生活習慣と代表的な顎口腔疾患との関連性について患者に説明し、適切な助言ができる。

1-3. 口腔衛生や口腔疾患と全身の健康との関連を説明し、適切な助言ができる。

5. 社会的貢献

医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、地域社会における保健・医療・福祉・行政ならびに社会奉仕等にかかわる活動を通して、国民の健康回復、維持、向上及び疾病の予防に貢献する

6. 自己研鑽

生涯学習者であることを自覚し、最新の知識や技能、必要な情報を国際的視野にたって獲得する意欲と態度を有し、常に自己を振り返るとともに、他者からの評価も受け入れ、至誠一貫の精神と向上心を維持する。

7. アイデンティティー

昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。